

須賀川市立長沼中学校・平成30年度学校通信

長中だより



第6号（平成30年6月22日発行）発行者 校長 小貴 崇明

【7月の生活目標】

○日常生活をふり返って、自分を成長させよう。
⇒夏休みの生活計画を立てる。

○長沼中校歌が生まれて50年！

すでにポスターや回覧板でもお知らせしましたように7月14日(土)の13時40分より、本校体育館において「校歌制定50周年を祝う会」を開催します。

実は、この祝う会では長沼中校歌の作曲者・**大中恩**（おおなか・めぐみ 写真→）先生をお迎えし、PTA 教育講演会として校歌を作曲した頃の思い出や歌に込めた思いなどを直接お聴きしたかったのですが、大中先生の体調の関係でお話はいただけなくなってしまいました。そこで、「**いわき室内合奏団**」の皆さんに演奏を依頼し、バッハやヴィヴァルディーの名曲も合わせて演奏していただき、最後にオーケストラの伴奏で、完成から50年を迎えた長沼中校歌を、全校生だけでなく卒業生である保護者や地域の皆さんとともに歌うという企画に変更いたしました。



12歳の1年生から65歳のおじいさん・おばあさんまで3世代で同じ校歌を歌うことで、在校生には長沼中の生徒であることの誇りを、地域のみなさまには世代を超えた感動を味わっていただきたいと思います。ご家族やご近所の皆さんとお誘い合わせの上、ご来校ください。もちろん**入場無料**です。クラシック愛好家の方、他市町村の方も大歓迎です。【いわき室内合奏団↑】



おじいちゃんもおばあちゃんも、お父さんもお母さんも、お兄さんもお姉さんも、中学生と一緒に長沼中学校の校歌を歌いませんか？

○防犯教室～大切な自分の命を自分で守るために～



6月19日の午後、須賀川警察署生活安全課の係長様はじめ4名の講師をお迎えして「防犯教室」を実施しました。

まずは、校舎東のゴミステーション付近からの不審者侵入を想定した避難訓練をマニュアルに沿って行いました。敏速かつ無言な避難により自分の命を守る行動についてしっかりとした行動ができました。

その後、須賀川警察署の皆様から避難の講評も含め、学校外で不審者に遭遇した際の注意点や護身術、さすまた使用の注意点、さらに日頃から犯罪を起こさない、犯罪に巻き込まれないようにすることなどについて詳しく説明いただきました。須賀川警察署の皆様からは、長沼中生の訓練や話を聞く態度がすばらしかったとお褒めの言葉をいただきました。（右の写真は、さすまたの使い方の実演です。）



○保健指導に力を入れています！～思春期講座・歯科教室～



6月5日（火）に、3年生の思春期講座を実施しました。今回も思春期保健相談士の松本美津子先生をお迎えし、思春期まったただ中の3年生に対して、自分と愛する人の心と体を大切にすること、素直な気持ちを言葉にすること、大人として成長する中で知っていてほしい性の問題（LGBTやデートDV、性感染症など）について、わかりやすくお話いただきました。3年生は、真剣に話を聞いていました。

6月11日（月）には1年歯科教室を実施しました。今年度も歯科衛生士・太田久美子先生をお招きして、歯磨きの正しい方法などを教えていただきました。わかりやすいイラストや写真を使って、80歳までに28本の歯を残そうという話があった後、歯の健康を考慮した歯磨き方法を各自が実際にやってみました。1年生は、真っ赤に染まった歯を完璧に白くしようと一生懸命歯磨きをしていました。長沼中は、全校生虫歯ゼロを目指します。



○赤ちゃんとのふれあい～命の大切さや育児の大変さを感じて～



6月21日（木）に、3年生の家庭科の授業の一環として「赤ちゃんとのふれあい会」を実施いたしました。

今回ご協力いただいた長沼及び近隣地区の赤ちゃんと保護者は13組で、6つの班に分かれた3年生が、赤ちゃんを順番に抱かせてもらったり育児の喜びや大変さをお母さん方から教えていただきました。命の大切さや自分が家族に大切に育てられたことを知る貴重な機会になったと思います。



★大切にしたい言葉(26) 「何でも謝ってすむことではないけれど、謝れない人間は最低だ！」(金八先生語録より)」

時々、自分から素直に謝れない生徒がいます。その生徒に対しては道徳的な判断や態度について指導しているのですが、最近のニュースでは素直に謝らずに自分の立場を守ろうとしている大人が連日報道されています。そんな大人の姿を見ている子どもが素直に謝れないのは、当然のなりゆきかもしれません。金八先生は、子どもたちに「素直で正直な人間になってほしい」と強く呼びかけると同時に、大人や社会に対して、実に人間としての重要な課題をつきつけているのです。

